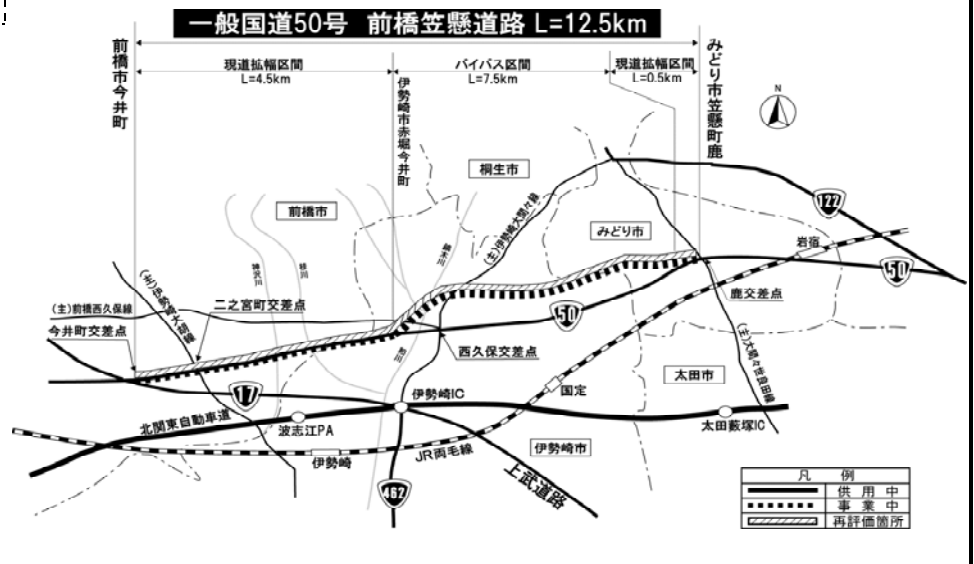


再評価結果（平成23年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：三浦 真紀

事業名：一般国道50号前橋笠懸道路 <small style="font-size: 8px; margin-left: 20px;">まえばしかさかけどうろ</small>	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 関東地方整備局
起終点：自：群馬県前橋市今井町 <small style="font-size: 8px; margin-left: 20px;">ぐんまけんまえばししいまいまち</small> 至：群馬県みどり市笠懸町鹿 <small style="font-size: 8px; margin-left: 20px;">ぐんまけんしかさかけちようしか</small>	延長	12.5km		
事業概要： 一般国道50号は、群馬県前橋市から茨城県水戸市に至る延長約150kmの主要幹線道路であるとともに、通過市町村における日常生活や経済活動を支える重要な路線である。前橋笠懸道路は、群馬県内で唯一の2車線区間である前橋市今井町～みどり市笠懸町鹿間における慢性的な交通渋滞を解消し、地域住民の生活環境における安全性向上を目的とした延長約12.5kmのバイパス及び拡幅事業である。				
H13年度事業化		H18年度都市計画決定		H21年度用地着手
工事未着手				
全体事業費	約427億円	事業進捗率	7%	供用済延長
				0km
計画交通量	26,000～49,300台/日			
費用対効果分析結果	B/C (事業全体)	1.8	総費用 (残事業)/ (事業全体) 280/311億円 事業費：248/279億円 維持管理費：32/32億円	総便益 (残事業)/ (事業全体) 557/557億円 走行時間短縮便益：504/504億円 走行費用減少便益：19/19億円 交通事故減少便益：34/34億円
	(残事業)	2.0		
基準年：平成22年				
感度分析の結果：残事業について感度分析を実施 交通量：B/C= 1.7～2.3 (交通量 ±10%) 事業費：B/C= 1.8～2.2 (事業費 ±10%) 事業期間：B/C= 1.7～2.2 (事業期間 ±20%)				
事業の効果等 (1) 交通混雑の緩和：当該区間は全国平均の約4.4倍の渋滞が発生。 当該事業の整備により渋滞の緩和が見込まれる。 (2) 安全安心な通行の確保：当該区間は全国平均の約1.4倍の死傷事故が発生。 当該事業の整備により交通事故が減少され、安全性が向上される。 (3) 救命救急活動の支援：桐生厚生総合病院（二次医療施設）から前橋市周辺の救急医療施設（三次医療施設等）への搬送時間が約9分短縮し、救命率が最大約23%向上				
関係する地方公共団体等の意見 県知事の意見：本事業は、渋滞緩和及び安全性向上に必要なことから事業の継続とスピードアップ化を図り、特に渋滞の著しいみどり市笠懸町鹿地区の早期完成を図りたい。 また、各年度の事業実施にあたっては、引き続き本県と十分な調整をするとともに、コスト縮減を徹底し、効果が早期に発現されるよう事業を推進されたい。				
事業評価監視委員会の意見 事業の継続を承認する。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 北関東自動車道（伊勢崎IC～大田桐生IC）が平成20年3月供用。				
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成21年度より用地の取得を開始し、用地取得率は全体で約2%完了。 引き続き用地の取得を推進し早期に工事着手する。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 引き続き用地の取得を推進し早期に工事着手する。				
施設の構造や工法の変更等 ー				
対応方針		事業継続		
対応方針決定の理由 以上の事業の効果及び進捗状況、関係する地方公共団体等の意見、事業評価監視委員会による審議を踏まえると、事業の必要性、重要性は高いと考えられる。				

事業概要図



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。
 ※総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。